

「ほっとルーム」だより

第２１９号　令和８年１１月１日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
（　子どもみらい課内　　TEL 33−5618　）

子育て支援センター きらきら 主催の

避難訓練と消防士さんのおはなし　がありました。

９月25日（金）に行われた「避難訓練と消防士さんのおはなし」では、参加者13名で、火災の避難訓練を行った後、消防士さんから消火器の正しい使い方や、子連れで地震が起きた時の対応についてお話を聞くことができました。救急車の見学もあり、乗せてもらった子どもたちは、自分で椅子に座ってベルトを締めたり、車内の様子や機材を興味津々でじっと見つめていました。お母さん方も子どもたちが夢中になる姿を嬉しそうに写真に収められており、親子で楽しく学ぶ姿が見られました。

子どもと一緒の避難のポイント

① 乳幼児との避難には、使いやすいおんぶひもや、災害時用の水や離乳食、オムツ等を備えておく。

② 家庭においては、家具等の転倒防止対策をして、スリッパ等の履き物を枕元に置いておく。

③ 家族でリュックを用意する。
子どもの分もあると、荷物をたくさん入れて運ぶことができる。

④ 災害時に対応できる家族の役割分担と、別々の場所で被災した時の避難集合場所を決めておく。

⑤ ハザードマップを見て、災害時の避難経路や避難場所の情報を知っておくと良い。



消火器について

**一般の消火器の使用時間は約15秒、放射距離は約4～6m。
天ぷら油の消火の際は、炎が上がる天井にホースを向けて行うと、薬剤が上から落ち、火種から空気を遮断して消火できる。**

参加者の声

初めて親子で参加しましたが、とても役に立つ話を聞くことができて良かったです。

災害が多くなってきているので、避難の仕方や準備しておく物等、知らないことも聞くことができて良かったです。とても良い勉強になりました。今日の話を防災に繋げていきたいと思います。

**秋の全国火災予防運動
11月9日(月)～15日(日)**

～ 火の確認　いい日を支えるいい習慣 ～

～ほっとルーム～
（子どもみらい課内）

子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。
TEL ： 33−5654　　FAX ： 32−3124

もう中学生…でも、まだ中学生。だからこそ、

親と子のコミュニケーションが大切です！！

夢をもつと人は強くなる～会話を増やして絆を深めよう～

子どもとの関わりの場

- 食事や家事を一緒にする
- 日頃から話をじっくり聴く
- 努力したことを認め、褒める
- 協力する体制を整える
  子どもが勉強するとき、大人は読書をするなど

思いを語り合う話題の例

- 子どもの夢や目標
- 大人としての経験
- 大人の様々な場面での失敗談
- 世の中のいろいろな仕事
- 社会でのできごと

子どもの夢や伝えたい思いを聴くところから
親子の会話が生まれ、親の愛情が伝わります。



大切にしましょう！
『子どもの思いを受けとめ、一緒に考え、一緒に学ぶ姿勢』

鹿児島県教育委員会資料より

子育てアドバイス

家庭の中で子どもが文化に出会えるのは、
どんな時でしょう。
料理を作る時でしょうか。
一緒にお菓子をつまみながら
家族で旅行の計画を立てる時でしょうか。
そんな工夫の中で感じる発見や喜びが、
未来への希望を育てる場合だってあります。
どんなに小さいものでも子どもは夢を持てば、
すごいエネルギーを発揮するものです。



広木 克行 著　「親と子の 絆を深め合う道程」より

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24　☎0120-783-574
☎099-294-2200 ※携帯電話からはこちら
24時間子どもSOSダイヤル　☎0120-0-78310
PTAすくすくライン（家庭教育やしつけについて）　☎099-251-0309